

令和4年度第1回香芝市国民健康保険運営協議会 会議録

令和4年度第1回香芝市国民健康保険運営協議会については、新型コロナウイルス感染症が令和4年7月から8月にかけて急速に再拡大したため、当初予定していた対面開催から書面開催に変更して実施しました。

【議題】

- 議題1 香芝市国民健康保険運営協議会における会長及び副会長の選出について
- 議題2 令和3年度香芝市国民健康保険特別会計決算（案）について

【表決結果】 表決結果については、以下のとおりです。

- 議題1 香芝市国民健康保険運営協議会における会長及び副会長の選出について
会長に 齊藤 千鶴 委員、副会長に 南 千晴 委員が選出されました。
- 議題2 令和3年度香芝市国民健康保険特別会計決算（案）について
全会一致により、承認されました。
なお、各委員からの質問及び事務局からの回答は、別紙1のとおりです。

【承認日】 令和4年8月23日

議題2 「令和3年度香芝市国民健康保険特別会計決算（案）について」に関するFAQ

（質問1） 医療費の費用額が過去5年間で最高額となり、1人当たり医療費の額も高額になっている。特別交付金は、健康増進や医療費適正化、保険料減免に関する支援について交付されるものがあるが、令和3年度の歳出のなかで、医療費適正化について使用される科目と事業内容はどのようなものであるか。

（回答1） 令和3年度における特別交付金の一部を財源にした医療費適正化事業及び使用した主な科目は下記のとおりとなっております。

	事業内容	使用した主な歳出科目
1	特定健康診査（個別・集団健診）の実施	特定健康診査事業費
2	特定保健指導の実施	特定健康診査事業費
3	歯科指導事業	特定健康診査事業費
4	脳ドック検診費用の助成	保健事業費
5	人間ドック受診費用の助成	保健事業費
6	ストレッチリーダー育成事業	保健事業費
7	後発医薬品の啓発事業	総務費（共同事業負担金）
8	重複・多剤投薬対策事業	総務費（共同事業負担金）
9	糖尿病性腎症重症化予防事業	総務費（共同事業負担金）
10	レッドカード事業	総務費（共同事業負担金）

※ 7～10の事業については、奈良県国民健康保険団体連合会取りまとめの共同事業に参加し、実施しました。

（質問2） 保険料の収納率及び県内平均との比較を教えてください。

（回答2） 本市の令和3年度における保険料の現年分の収納率は94.32%で、滞納繰越分の収納率は28.59%でございました。県内平均はまだ公表されていないため、現時点では分かりかねます。ご参考までに、県内12市での状況をお伝えさせていただきます。県内12市平均は、現年分で94.18%、滞納繰越分で18.42%となっております。

令和3年度	香芝市	県内12市平均	県内12市平均との差	県内12市順位
保険料 現年分	94.32%	94.18%	0.14%	5位
保険料 滞納繰越分	28.59%	18.42%	10.17%	2位

（裏面に続く）

(質問3) 未就学の1人当たりの医療費増加は何か原因があるのでしょうか。香芝市特有の理由でしょうか、全国的な理由でしょうか。

(回答3) 香芝市国保における未就学児の医療費についてレセプトを確認したところ、令和3年度は1人当たりのレセプト件数や1レセプト当たりの費用額の増加が要因であると推測されます。

	費用額が100万円を超えるレセプト		
	対象者数(人)	レセプト件数(件)	費用額(円)
令和3年度	3	32	101,804,950
令和2年度	8	19	47,891,160
令和元年度	2	3	10,524,590

ただし、厚生労働省が発出している資料「医療費の動向(令和3年度4月～1月)について」においても、令和3年度の未就学児の1人当たり医療費や1日当たり医療費は、対前年度及び対前々年度と比較して増加していることがわかりました。